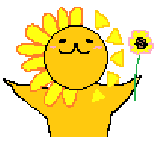
向陽中だより



本校生徒会キャラクター
「ひま SUN」

令和７年度第４号
令和７年６月１日
杉並区立向陽中学校
校長　　高津　　憲

＜教育目標＞　◎　よく考える人　　○　思いやりのある人　　○　たくましい人

教育目標の実現を目指して

研究主任　細谷　詩津江

今年度の本校の教育目標は、「よく考える人」「思いやりのある人」「たくましい人」の３つです。

４月の初旬、生徒たちは、「私たちが目指す向陽人とは、どのような人か。そのためにどのようなことを意識して生活していくべきか。」について考えを巡らせ、目標を立てました。そして、この教育目標の実現を目指して、今年度の研究主題は、「通常学級における個々に適した指導の習得と実践に向けて」といたしました。教育活動における「個別最適な学び」と「協働的な学び」が、生徒の主体性を育むことにつながり、教育目標の実現につながるものであるためです。

文部科学省は、2030 年の社会と子どもたちの未来を見据えて、学習指導要領に「個別最適な学び」と「協働的な学び」という視点から、改めて学習活動を捉え直すことの重要性を示しています。

さて、この「個別最適な学び」とは、教師が子どもの特性や学習の進度に応じて指導をする「指導の個別化」と、子ども自身が学習が自分にとって最適なものとなるように調整する「学習の個性化」の２つに整理し、教師は子どもたちの一助となり、「個に応じた指導」を目指すこととされています。また、「協働的な学び」については、ICT 機器の活用やグループワークといった活動を通じて、子どもたちが多様な意見を共有しながら、合意形成を図ることができる機会を設ける工夫をすることであるとしています。そして、この「個別最適な学び」と「協働的な学び」の要素が組み合わさって実現する学習活動は、子どもたちがあらゆる他者を尊重し、多様な人々と協働しながら日々変化する社会を乗り越えつつも、自ら豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の作り手となるために重要なことと捉えています。

学習指導要領の改訂に伴い、私たちは、教育目標に照らして、教育活動における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の具体的な方法を模索し続けてきました。また、学習支援教員や通常学級支援員、学校司書、スクールカウンセラー、学習ボランティアなど、多様なスタッフの力も借り、個々の生徒の将来を見据え、教育活動の充実を目指してきました。今年度も、生徒の指導についての共通理解を図り、教育委員会指導主事と共に評価・評定のあり方について確認をするといった内容から研修をスタートさせました。運動会についても、今まで以上に、生徒が主体の活動となるように指導を行いました。今後も授業改善やよりよい学級経営に向けて、教員同士が意見交換をしたり、学校運営協議会と連携したりしながら、研鑽を積んでいきます。

向陽中学校が掲げる「よく考える人　思いやりのある人　たくましい人」とは、子どもたちが、自らの手で豊かな人生を導き出していく上で必要な人間力を備えた人であると考えています。保護者の皆様や地域の皆様と共に、安心で安全な環境を整え、生徒の自主性を重んじ、協働・探究して取り組む教育活動を行うことで、各々が目指す向陽人に近づけるよう、教育活動を行っていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

令和７年度向陽中学校研究主題

通常学級における個々に適した指導の習得と実践に向けて

＜第１学年　フレンドシップスクール報告＞

令和7年度 フレンドシップスクール スローガン

初めての出会い　深めよう絆　フレンドシップの軌跡

１　実施日時　　令和７年５月 14 日（水）　午前７時 30 分集合～午後５時頃解散

２　実施場所　　朝日里山学校（茨城県石岡市）、つくばエキスポセンター（茨城県つくば市）

３　当日の主な行程

7：30	いなげや杉並桜上水店前に集合 ～バス乗車・出発 バス内レクリエーションの実施
9：50	朝日里山学校到着～開校式 ～飯盒炊爨（はんごうすいさん）
11：20	調理終了～昼食～片付け～閉校式
12：35	朝日里山学校出発
13：05	つくばエキスポセンター到着 ～クラスごとに集合写真撮影
13：30	施設内見学・体験
15：00	つくばエキスポセンター出発 ～バス内で振り返り・終学活
16：55	あぶら～亭桜上水本店前にバス到着 ～解散

令和 7 年度のフレンドシップスクールは、例年と異なり、日帰りの校外学習としての実施でした。それでも、これまで宿泊行事として行ってきたときと同じように「フレンドシップ」を育むことができる行事とすべく、準備を進めました。昔から言われているように、仲を深めるには「同じ釜の飯を食う」ことが一つの有効な方法です。そこで、「飯盒炊爨（はんごうすいさん）」をメインイベントに据えました。また、各クラスのレク係が企画した「私は誰でしょうクイズ」などのバスレクや、つくばエキスポセンターでの班行動など、生徒たちは楽しみながら、フレンドシップスクールの活動に取り組みました。

フレンドシップスクールのスローガンは、実行委員会のメンバーが話し合って決めました。話合いでは、「責任感」や「チャレンジ」、「協力」、「向陽中の一員」など、様々なキーワードが出されました。その中でも、“新しい仲間”と“いつもと違った場所”で“絆を深めよう”という思いや、行事が終わった後にその“軌跡”を振り返ったとき、“「やってよかったな」と思えるような思い出が残ってほしい”という思いを、実行委員のメンバーで確認し合い、言葉にしました。

このフレンドシップスクールでの一番の成果は、１ 年生 103 名が、誰一人欠けることなく全員参加し、大きな事故等無く、すべての活動を全うできたことです。向陽中学校に入学し、１か月余りが経ちました。違う小学校出身の人、はじめて同じクラスになった人とも、徐々に打ち解けてきた頃ではありますが、班活動や係活動をしたり、協力して作った昼食を一緒に食べたりすることなどを通じて、より一層仲を深めることができました。

生徒の感想には、飯盒炊爨でそれぞれの役割をしっかりとこなし、協力しながら取り組むことができた様子や、つくばエキスポセンターでの驚きの体験、また全体を通して得られた“フレンドシップ”や、次の運動会などの行事や学校生活につなげ、経験を生かそうという意欲などがたくさん書かれていました。